

本物の樽高い

南洲翁の寫眞!!

船主が秘藏

江名町中之作、船主吉田喜十氏宅には永年秘められた西郷南洲の寫眞があり、新瀉からわざわざ見に出かけて来た人もあつて一部の好事家の間には評判となつてゐる。

入手の経路は喜十氏の母堂イッさん(喜)が明治十

四年に親戚である現江名小学校校長振旗氏の親戚から譲られたもので振旗氏の親戚さんは明治七年頃東京で意欲な寫眞屋に強ひて頼んで手に入れた由でこの寫眞屋は明治初年洋行、南洲が料亭でくつろいでゐる處を秘かにカメラに収めたといはれる。

寫眞は黄色く色褪せてもう一年もたてば消えさうであるが、目は普通に見る南洲翁よりもすつと鋭しく口は受け口で、むしろ意地悪く見える。

最初喜十氏宅では何處のおつさんと打つちやつておいたが大正十四年頃

海軍簡閱點呼

小名濱で六月十五日

今年の簡閱點呼は、二等航して、六月十五日に行はてんを着た鳥打帽の男が徘徊してゐるのを手招きして一問先の人影も見えぬ程度

小名濱町會

和氣堂に満ち一湯千里

二十六日小名濱町會を傍聴すべく定刻の午前十時につめかけた、定刻より遅るゝ一時間十一時に開會

議案第一號
災害復舊工事施行の件
協議案
公園道路寄附の件
協議案第一號
給水用井の件
協議事項
町醫中村三良氏病氣見舞

一ヶ月 三十錢
一部 一錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

六月十四日午前八時湯を出物蔭に連れ込み口をふさいで、同日午前十一時掛分小名濱港外、陸上から千三百のを近所の者が発見! 八十五米の地點に投擲する警察に急報したが警察到着は汽笛を鳴らして迷ふ船を、點呼人員は平署管た。或ひは酔漢の仕業かと云はれてゐる。

壯丁の特別受檢

五月一日若松で

鯉取りにカムチャツカへ行く船は五月初旬出帆八月末に歸るが之に乗組む船員の中江名町在住の壯丁五名は吉原兵事主任に引率され

中之作に

人凌ひ現る!!!

昨廿六日夕方江名町中之作役場附近に腰切りのはんを着た鳥打帽の男が徘徊してゐるのを手招きして一問先の人影も見えぬ程度

濃霧船を恐はす

濃霧船を恐はす

昨廿六日夜から今朝にかけて濃霧を襲つた濃霧は

人事往來

去二十六日午前九時玉川村字島百八番農小泉幸延さん(三男)三郎(三)は誤つて溜壺の中へ墜落溺死した

小名濱町古港の某氏は町政

小名濱町古港の某氏は町政批判の爲奮正會を組織すべく發起人數名で寄々協議中

中之作(本廠商店調査)

中之作(本廠商店調査) 魚名 漁獲高 單價割

天氣豫報

今晩は南風で曇り一時晴

今晩は南風で曇り一時晴明日は南風で曇り

魚名	漁獲高	單價割
平目	五十貫	廿七、廿八
アラ	八十貫	十五、十六
石持	百貫	四、五
ホラ	二百貫	三、五
タコ	三百貫	一、七、二、五
ノド	五十貫(大)	五、五
マス	四十貫	十
イカ	二籠	一籠七圓
鰯	三千八百箱	
一箱七十錢	五十三錢	
鰯の漁場は川尻方面の沖合		
大敷船	廿二	
底曳船	廿一	
アグリ船	十一	
カンコ船	九	
中之作(本廠商店調査)		
柳	五十貫	九、五
イカ	三十貫	三、〇
ノド	三十貫(大)	四、五
タコ	百貫(小)	二、五
タコ	百貫	一、五
タコ	百貫	〇、八
タコ	百貫	〇、八
入港船	底曳船	一本四錢
他二十隻は濃霧の爲廿七日朝入港		
江名濱(印商店調査)		
平目	五十貫	十五、廿二
メヌキ	三百貫	四、五
ギム	四百貫	三、四
肉持	百五十貫	一、五
タコ	五百貫	〇、八
赤タコ	二千五百貫	一、三
タコ	一千五百貫	〇、八
入港船	底曳	十五

寄稿歓迎

高等動物の缺陷

急速に發達する新しき社して悪は假想である。哲人會には三面記事が少量に生は云つてゐる。諸君よ人を産されてゐる。そこには眺る勿れ新聞紙上には必躍せる生命が烈しく動いて居る。記者が書くからだ、こうした社會のだから間違はあつた。これに生息する動物の性格や境に自惚れて自己發表するの過や常識には色々缺陷があつたが、去日當社に定るのだ、そこには相容ざる期總會の記事を出して世人二つの力の葛藤や衝突が現に潮突を受けた筆者は常識れるからである。裁ばくやかなかつたのだ、警察が株も裁かれる者も缺陷のな、式組織になつては如何に物者はない、人間の生活上に質文明か進化してもなるまは間違だらけだからこそ人と思ふ。それを株式配當に問はぬのは神様ばかりだて書いたのだから、筆の措免陷の無いのは神様ばかりだて書いたのだから、筆の措免

あるが如何に學者と云へど、あてには諸君よ筆ををる前に自らなれない彼のニエトンで己を反省してそつて貰ひたい。へて一時間も煮たと逸話があるではないか。あるではないか。吾々先驅者として指導すべき人物は何をしてゐるか、政治家(政治屋)又教育家(教育屋)彼等の策謀痴漢數々上げれば枚舉に過ぎないと思ふ。然しこうした人間の缺陷をほころべきはないが、當る記者として人間の缺陷を捉して毎日報道してゐる行為は實にくむべきと思ふであらう。人間は唯も悪い事をしようと思ふ者は一人も居ない唯環境と境遇の支配するところだ、善は眞想に

祝日刊發行

眼科 鈴木 木 熙
石城郡植田町

渡邊村釜戸 諏訪神社々々
高木 信 定

建築業 内山 治 七

諏訪神社々々 鹿島神社々々
小名川 衆 雄
小名濱町

小名濱町 警 城 座
支配人 小野直千賀

小名濱 高等小學校
校長 西山直三郎

小名濱製材所
木田 熊 太郎

石城郡町村長

七十七銀行小名濱出張所
所長 櫻 井 詢
海産物商 高野崎 貞行

内科・外科 小児科 花柳病科
平川 醫院
江 名 町 電話二六

内科・小児科 外科花柳病科 レントゲン科
▲病室の設備あり
中村 醫院
小名濱町 電話一八番

齒科一般 口腔外科
木田 齒醫院
小名濱町電話一〇五番

口腔外科 齒科一般
池部 齒醫院
江 名 町

内科・外科 花柳病科 小児科
會田 醫院
院長 會田 亮
小名濱町上横町

内科外科 耳鼻咽喉科
宮津 醫院
小名濱 電一四二番

快鼻湯

保有効 快鼻湯
効 蓄膿症、慢性急性性鼻加答兒、鼻汁多加症、能 頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり、能 其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞賛されて居ります。

快鼻湯製造發賣元 啓城國中町一丁目
水野 藥局
責任製劑者藥劑師 水野 清一



樋口 吳服店
小名濱町中島通り

江尻吳服店

商品豊富を店
商號 西 村 屋
通稱 夕 イ モ ン
小名濱町横町 電話二十四番

……は酒銘 界世清
店本尾水清 元寶發
電話二十四番

